



学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」 No.3

庄内西小学校だより

令和3年(2021年)5月6日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

今年のGW(ゴールデンウィーク)はGW(ガマンウィーク)だと言われていましたが、五連休はおうち時間をどのように過ごされたでしょうか? 心身を休め、エネルギーをしっかりと充電できた子もいれば、少なからずストレスがたまっている子もいるかもしれません。学校では感染防止対策を徹底しながらも、のびのびと楽しんで生活できるよう工夫して行きたいと思っています。



配置や派遣が決定しました

◎坪内 稔明さん⇒5,6年生の家庭/図工の専科(10時間/週)

◎中村 敏男さん⇒4,5,6年生の算数のTT=ティームティーチング(10時間/週)

1時間の授業に複数の教職員が関わることで、児童のつまづきなどにもきめ細かく対応することができる。習熟度に応じて効果的な指導が展開できる。というもの。

*日光 昌子さん⇒SSW(スクールソーシャルワーカー) 毎週月曜日に来校

*衛藤 萌さん⇒SC(スクールカウンセラー) 拠点校は野田小学校

*青山 裕香さん⇒SS(スクールサポーター) 月曜日6時間 水曜日4時間

*湧岡 松子さん⇒SSS(スクールサポートスタッフ) 月,水,金曜日 9時~13時

*富永 良雄さん⇒ICT支援員

詳細は右のページをごらんください。⇒⇒

7中からきていただきます

❖佐野衣都子さん⇒6年の理科専科(小中連携理科担当)

❖臼井 佐穂さん⇒6年の英語(コアスクール 英語担当)



中学校教員が小学校で教科指導を行うことで、小中学校間の円滑な接続と指導の一貫性や系統性を深め、学習意欲や学力の向上を図るというものです。7中校区の3小学校(本校,庄内南小,千成小)に7中の先生が授業をしにきてくださいます

学校をサポートして下さるみなさん



SSW(スクールソーシャルワーカー)

「環境のケア」を中心に行う「福祉の専門家」⇒社会福祉士,精神保健福祉士等

個人を取り巻く環境(家庭/学校/地域/医療や福祉等)を整理し、子どもの社会的状況や家庭的状況(貧困/傷病/障がい/虐待/DV/社会不適応等)を改善するために、関係機関と連携したり必要な社会的資源につないだりする

また、学校に福祉的な視点を浸透させるために教職員に向けた研修や、組織的な対応がスムーズにできるような体制づくりなど予防的な対応も行う。

SC(スクールカウンセラー)

「心理面のケア」を中心に行う「心の専門家」⇒公認心理士,臨床心理士等

個人の行動や特性の背景について心理的な見立てを行いその内容を関係者と共有したり心の整理をうながしたりすることで、状態の改善・向上を図る。

また、教職員への校内研修や児童生徒への心理教育を通して、予防的な対応も行う。

*中学校区に一人の配置でしたが、今年度より小学校SCが配置されました。(野田小学校を拠点校とし、本校を含む8小学校を担当されます。)

SS(スクールサポーター)

配慮の必要な児童生徒の個々のニーズに応じた学習面や生活面での指導や支援を行うため、豊中市教育委員会が豊中市立小中学校に、有償ボランティアとして配置される。学校長の推薦書があれば誰でもできる。(試験や面接はなし。年齢制限もなし。)

SSS(スクールサポートスタッフ)

新型コロナウイルス感染症防止対策として校内の消毒を行ったり、事務の補助などを行ったりする。教職員の業務負担が少しでも軽減され、子どもたちと向き合う部分に力を発揮できるように配置されるもの。

ICT支援員

授業で使用するタブレット端末やパソコンなどICT機器の動作確認や、ネットワーク接続トラブルへの対応などの他、授業のサポートも行ったりする。校内でICT機器をストレスなく使えるようサポートを行う。